



松山城天守から本丸広場にいる市長や生徒に向かって思いを叫ぶ生徒



市長も見守る中、将来の夢などをつづつた「夢ひこうき」を飛ばす



天守からの声を聞き歓声を上げる生徒と一緒に笑顔で答える野志市長



さまざまな分野で高校生と市長が意見交換

100回記念特別企画  
東中生と市長が将来を語り合う

100回の節目を迎えるにあたり2月3日、少年式を迎えた東中学校2年生の生徒約90人が参加し、特別企画「市長！聞いてや！私の思いin松山城」が行われました。天守から代表生徒

12人が1人ずつ、下の本丸広場にいる野志市長や他の生徒らに向かって、松山への思いや将来への決意、目標などを叫びました。「将来は映画監督になりたい」と言った生徒に野志市長は「松山を舞台にした映画を作って、松山の魅力を全国に、そして海外に発信してください」と答えました。

また、生徒ら全員が自分の好きな言葉や夢をつづつた「夢ひこうき」を「せーの！」と松山城本丸広場から飛ばし、将来への決意を新たにしました。参加した生徒は「すごく貴重な経験ができた」「松山がいろいろな人が来るまちになればうれしい」などと話していました。

100回目のタウンミーティング  
将来を担う子どもたちの声とともに

平成23年1月から市民の皆さんと市長が直接対話し、可能な限り市政に反映してまちづくりをしようとしたタウンミーティング。2月14日に100回目を迎えました。

第100回タウンミーティング 世代別高校生と初めて開催

「正岡子規・夏目漱石生誕150年」にちなみ、子規・漱石にゆかりのある松山東高等学校の1年生と「高校生の視点で松山市を考える」をテーマに意見交換を行いました。

生徒からは、交通、就職、子育て、国際交流などの意見や要望が挙がりました。野志市長は、市の取り組みを紹介しながら、「行政や政治に無関心になることはもったいないので、今日を一つの契機と捉え、関心を持ってほしい」と話しました。

意見・要望

- 大学の学部を増設してほしい。
- 姉妹都市・友好都市サミットを開催し、学生同士の交流を深めたい。
- 感想  
●行政をとて身近なものに感じることができた。
- 私たちが知らないだけでさまざまな事業が進んでいることに驚いた。

かっぱトーク

タウンミーティングは「市民目線で物事を判断する」「現地・現場を大切に」という思いで私が市長就任直後から取り組んで、1期目には市内全41地区を2巡りし、2期目からはさらに幅広い層と意見交換したいと思い、世代別や職業別も始めました。

100回は通過点

一つ一つの通過点です。一人でも多くの人々が笑顔になり、幸せを実感できる松山の実現に向けて「魅力は伸ばす、課題は減らす」対話をこれからも重ねていきます。

松山市長 野志 克仁

主な内容

- 年金特集 …… 4・5面
- 愛媛マラソン …… 12面
- 移動図書館巡回予定 …… 6面
- 松山春まつり …… 3面
- 市民ガイド …… 7~11面

発行：松山市役所  
編集：総合政策部シティブロモーション推進課  
毎月1日・15日  
☎948-6705 ☎934-2578  
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



大塚 優香さん  
(松山東高1年)

思いを伝えるきっかけを作ってくれてよかった

今まで思いを伝えるきっかけがなかったけれど、今回市長がとても真摯に質問に答えてくれたのでよかったです。

タウンミーティングラジオ広報

FM愛媛「えひめまるごと15分」(まちらチ)  
毎月第1水曜日 11時40分~11時55分  
市長がラジオ出演し、タウンミーティングでの取り組みや地域の魅力を発信しています。

〒948-6333 松山市 町田町 町田ビル  
〒948-2336 松山市 町田町 町田ビル